

情報公開文書

屍体解剖による腓骨皮弁挙上・前方アプローチ法に関する研究

1. 倫理審査と許可

この研究は、研究対象者の方の人権が保護されているか、また安全性および科学性に問題がないかについて慎重に審査され、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

2. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究機関 : 京都大学医学部附属病院
研究責任者 : 京都大学医学部附属病院 形成外科 講師 津下 到
個人情報管理責任者 : 京都大学医学部附属病院 形成外科 講師 津下 到

3. 研究の目的と意義

形成外科では、下顎癌や上顎癌の摘出手術と同時に再建手術を行うことで、機能と整容の維持を目指した手術治療を行っています。膝下の下腿部からの骨移植手術（腓骨皮弁術）は広く行われる術式であるものの、知覚障害や運動障害の合併症を減じながらスムーズな手術を行うために、手術方法の工夫と改善を図ることは非常に重要です。

4. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日より2027年3月31日までを研究期間としています。

5. 対象となる情報の取得期間

京都大学医学部 Clinical Anatomy Laboratory (CAL) プログラム（倫理委員会承認番号：R1785、献体を用いた医師・医療従事者の教育・研究プログラム）に基づいて提供いただいたご献体を用いて、両下腿の骨・筋肉・血管・神経に関する走行の評価や手術方法の検討を行います。また、下腿の血管走行を造影CTで評価します。

6. 情報の利用目的・利用方法

得られた情報は、腓骨皮弁による頭頸部再建の知識や手術手技の向上を目的とした研究資料として使用します。プライバシーに十分配慮した上で、専門学会や学術雑誌に発表する場合があります。

7. 利用する情報の項目

腓骨の長さ、下肢手術の有無、穿通枝血管の位置、浅腓骨神経と深腓骨神経の走行位置、腓骨動脈と後脛骨動脈の分岐位置、前方アプローチ法で妨げとなる構造物（血管・神経）、腓骨筋へ流入する栄養血管の位置と筋肉内の走行。

8. 利用を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日より。

9. プライバシーの保護について

得られた情報は、プログラムの成果として専門の学会や学術雑誌に発表されることもありますが、研究対象者の方のプライバシーは十分に配慮し、個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。また、写真等の情報を用いる場合も、個人が特定されないことがないように慎重に配慮いたします。

10. 研究終了後の結果の取り扱いについて

得られたデータは、プログラム参加者にて保管されますが、個人情報漏えい等が起こらないように細心の注意を払います。

11. 資料の入手・閲覧、提供の停止について

他の研究対象者の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障のない範囲内で、この研究に関する資料を入手・閲覧することができます。また、研究対象者またはその代理人の方の希望に応じて、得られた情報の利用や提供を停止することも可能です。ご希望がありましたら、研究責任者にご連絡下さい。

12. 連絡先とお問い合わせ先

何か分からないことや心配なことがありましたら、下記の研究責任者か相談窓口にご連絡下さい。

京都大学医学部附属病院 形成外科 研究責任者 津下 到

TEL : 075-751-3613 FAX : 075-751-4340

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

TEL : 075-751-4748 E-mail : ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

13. 研究資金・利益相反

運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。